

緊急雇用創出事業（緊急雇用創出事業臨時特例基金） 伊勢湾沿岸アサリ生息状況調査緊急雇用創出事業

水野知巳・藤原正嗣

目的

緊急的に雇用を創出するとともに、資源管理に資するため、伊勢湾沿岸域の二枚貝類の分布を把握する。

方法と結果

明和沖と伊勢沖に設定した50測点で2010年9月および12月に、0.2 m²の底泥を採泥後、目合い1mmのふるいに残った二枚貝類を同定し、殻長組成を調べた。さらに14測点では底質の粒度組成（中央粒径・泥分率）、強熱減量、化学的酸素要求量、全硫化物量も調べた。

なお、粒度組成はJISA1204に、強熱減量、化学的酸素

要求量、全硫化物量はそれぞれ環水管127号（環境庁1988年9月8日付底泥調査法）のII-20、II-17、II-4にしたがい分析した。

その結果、明和沖および宮川周辺の干潟域では、2009年秋季に発生したアサリ稚貝が2010年9月時点で殻長10mmに（図1、図2）、12月時点で殻長15mmに成長し、高密度で分布していた。

参考文献

三重県水産研究所・モリエコロジー（2011年3月）伊勢湾沿岸アサリ生息状況調査業務委託報告書。

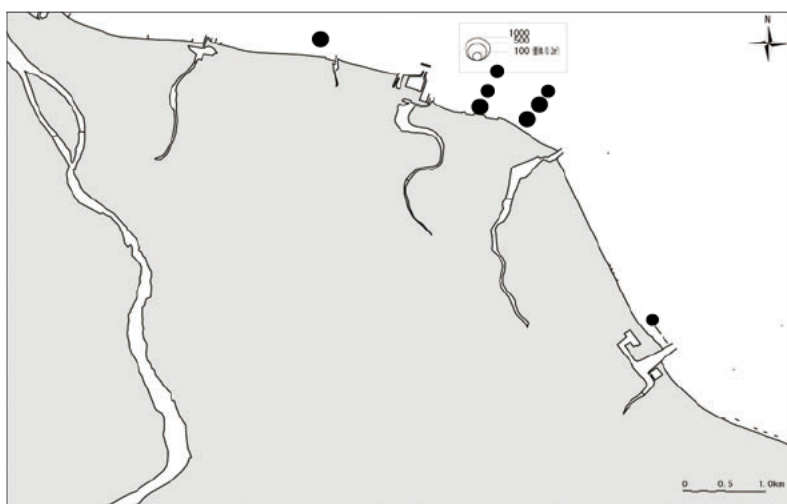


図1 明和沖のアサリの分布（2010年9月）



図2 伊勢沖のアサリの分布（2010年9月）